



東郷平八郎像(鹿児島市) 写真協力:鹿児島県PR・観光戦略部観光課

私の臨床研修医時代

霧島市立医師会医療センター
はせがわ すすむ
副院長 長谷川 将

私は1987年鹿児島大学医学部を卒業しましたが、当時は卒業後即入局の時代で、色々と研修しながら自分の向いている科を決めようなどといった余裕はなく、学生の頃から方向性を意識しておく必要があり、卒業前多くの同級生と自分の進路について議論し合った記憶があります。その結果決めた旧第二内科でしたが、例年入局者が多く同期も30人を数え、多いがゆえ附属病院での受け持ち患者数も少なく、アルバイト回数も少なく、既定の基本給も現在とはかけ離れて安く、もっと勉強したい、もっと経験したい、お金も欲しい～と色々な面で飢餓状態でした。現在の研修医は特に経済的問題を抱えることなく、医師として机上の医学から様々な臨床経験まで学んだ上で自分の進路が決められる、恵まれた環境にあると思います。

一方で現在の研修プログラムは習得すべき項目が明確化され、それに沿い教わる、与えられることばかりで、一律化した医師ばかりが増えるのではと危惧しております。プログラムに沿った研修ばかりではなく、指導医や同僚、そして患者と密に>Contactをとり、教科書にない耳学問や人間性まで学んでいくことも大事かと考えます。



指導医の思い出



つねもり まさし
常森 将史

勤務先 **総合病院鹿児島生協病院**

出身校 神奈川県立茅ヶ崎北陵高校
→三重大学

私は2006年、研修必修化3年目の年に鹿児島生協病院に入職し、現在に至ります。当時は二人の研修専任指導医と初期研修医・内科後期研修医でグループを形成し、専任指導医を「社長」「副社長」とか「パパ」「ママ」って呼んでたっけ。「患者さんから学べ」の気風の下、余力のある限り患者さんを受け持ち、余力がなくとも受け持ち、無理してても楽しかった。今の研修医には周りからストップがかかって、もはやできない芸当。一番の思い出は心筋梗塞から心室細動となった40代の方。カテ室に向かうストレッチャー上で患者さんに跨って胸骨圧迫し、PCIをして見事に独歩退院。今でも元気に通院中。私が現在循環器内科医となったきっかけのお一人です。

出身地：神奈川県



かくもと まさや
覚本 雅也

勤務先 **鹿児島徳洲会病院**

出身校 私立巣鴨高等学校
→富山大学

私が初期研修医の時はいくつかの科を2年間かけてローテートしてから一つの科に入るというシステムであった。思えばどの科においても2~3ヶ月という短い期間であり、自分自身右も左もわからない中、あまり興味も示さず、なんなくただ受け身で過ごしてしまった。もっと精力的に勉強して取り組んでいたらと今は思う。良き上級医や指導医に巡り合えるかも大きい。若い時にしかできないことがあるように、医師としての人生においても研修医時代にしか学べないことや、得られない経験があり、進路選択を含めその後の人生に大きな影響を及ぼす。これから研修される先生方は、悔いの無いよう精一杯取り組んで充実した研修生活を過ごして欲しい。

出身地：千葉県



なかべっぷ よしあき
中別府 良昭

勤務先 **鹿児島市立病院**

出身校 鶴丸高校→鹿児島大学

私は、1984年に大学を卒業し放射線科に入局しました。当時の画像診断装置は、MRIはまだ臨床では使用できず、CTも、息止めの必要がない頭部CTは比較的普及していたものの、息止めの必要な体幹部CTは県内に数台しかない状態で、1スライス撮像するのに8秒息止めが必要（現在は10秒息止めで頸部～腹部が撮像できます）で、1日に5人検査するのが精一杯の状況でした。また核医学、放射線治療もまだアナログの時代でしたので、当時の各担当者以外の若い医師は放射線科医師の仕事は外来、病棟、血管造影、胃透視、注腸、胃カメラ（ファイバー）を主に回っていました。この後、放射線科の業務内容は次第に変化し現在に至っています。

出身地：鹿児島市



しまご あつし
島子 敦史

勤務先 **今給黎総合病院**

出身校 鶴丸高校→鹿児島大学

私の頃は初期臨床研修制度ではなく、平成元年卒業、そのまま小児科に入局、2年目に2.5次病院で半年研修させて頂いた時の経験です。一般病棟に加え、周産期センターも担当で、最大で25名(同時期に人工呼吸3名+血液ガスモニターが必要な児2名)の入院患児を受け持ち、今では考えられない量的な面も強い研修でした。おかげで小児の一般疾患への対応や血管確保・腰椎穿刺・気管内挿管などの技術は全てこの病院で学び、その後は少しずつバージョンアップしただけのような気がします。また、研修期間を共にした他大学出身のDrとは今でも仲良い関係です。どうぞ頭が柔らかいうちに多くの症例を経験し、コアな部分を造られることをお勧めします。

出身地：鹿児島市

研修医の声



出身地：肝属郡

よこやま くみ
横山 久美

研修先》大隅鹿屋病院

出身校》鹿屋高等学校→産業医科大学

私は大隅半島出身なのでここは地元です。大学も県外なので研修は関西か福岡でしようと考えていましたが、一度見学に行ったところこの病院を超える病院はなかったのでこの病院に決めました。地元だからわかりますがこの病院は本当にこの地域の医療を支えています。私自身救急を利用することがあります。そのような病院で勤務し学べることを大変嬉しく思います。大隅半島の皆さんへの期待を裏切らないように謙虚に全身全霊で励みたいと思います。



出身地：薩摩川内市

かじはら りょう
梶原 涼

研修先》鹿児島市医師会病院

出身校》鶴丸高校→鹿児島大学

研修医として早くも半年が過ぎました。日々新しい挑戦と経験で、忙しくも楽しい毎日を送っています。研修開始当初は病棟でも救急外来でも何をしてよいか分からず手をこまねいでいるだけでしたが、根気強く指導してくださる先生方やスタッフの皆様、何より患者さんのおかげで少しづつ医師として成長しています。当院は医局が同じということもあります。分からないことを各科の先生に相談しやすい環境です。また部署の垣根も低いため、専門のスタッフに質問しやすく、ときには手技の練習相手になっていたらしく等、皆で育ててもらっています。与えられてばかりの現在ですが、一進一退しながらできることを増やし、医師として恩返しできるよう努めます。



出身地：鹿児島市

ひだか せいや
日高 誠也

研修先》南風病院

出身校》クラーク国際記念高等学校→帝京大学

研修医生活も、もう2年目の半ばを過ぎようとしています。はじめは患者さんの採血をするというだけで萎縮し、上級医の先生や当時2年目の先生の助けを借りることも多かったですが、このごろになって自信を持って採血に限らず様々な手技を行えるようになってきたように思います。勿論それは未熟な研修医を暖かく支えてくださる指導医の先生方をはじめとした様々なスタッフの皆さんのおかげがありました。

僕がこの病院で学んだ、南風病院の理念である「人にやさしく、あたたかく。」を胸に残りの研修生活を患者様のために頑張っていきたいと思います。



出身地：大阪府

いしまる なつき
石丸 夏姫

研修先》今村総合病院

出身校》茨木高校→鹿児島大学

研修医となって早くも半年が過ぎ、ローテーションでは4つの科に突入しています。外科、消化器内科、麻酔科、脳神経内科とまわらせていただきました。少し慣れてきたかなと思う頃に科が変わり、その度に不安になりますが、指導医の先生方の丁寧なご指導はもちろん、コミュニケーションのスタッフの方々が優しく助言をしてくださるおかげで、充実した研修を送ることができます。

研修医同士では最近勉強会を始め、各科で学んだことや自分の得意分野などを発表し、みんなで共有できる場を作りました。お互いに教え合い、学びあいながらよりよい研修にしていきたいです。

トピックス



臨床研修病院見学ツアー&第2回臨床研修病院合同説明会を開催しました

8月20日（月）から21日（火）にかけて、県内外の医学生を対象とした臨床研修病院見学ツアー及び第2回臨床研修病院合同説明会を開催しました。

見学ツアーには16名の医学生が参加し、3つのコースに分かれて県内の基幹型臨床研修病院を見学しました。指導医・研修医からの概要説明や施設見学などがあり、参加者からは、「1日で3つの病院を見学でき、効率が良かった。」

「研修医の先生の生の声が聴けてよかったです。」などの声が寄せられました。

翌日の合同説明会には17名の医学生が参加し、県内で研修中の臨床研修医3名が「研修病院の選び方」について発表や質疑応答を行った後、県内12の臨床研修病院が、個別ブースを設けて医学生の相談等に応じました。医学生はじっくりと話を聴けたようでした。



3病院を1日で見学し、病院の雰囲気や特色を
その目でみることができます



興味のある病院のブースで、研修医などから
直接話を聞くことができます

第17回鹿児島県臨床研修医合同研修会を開催しました

10月6日（土）に、臨床研修医や医学生の皆さん、本県で医師としてキャリアを形成していくことをサポートするため、「第17回鹿児島県臨床研修医合同研修会」を開催しました。

当日は、臨床研修医をはじめ178名の関係者が出席し、県内の臨床研修医8名が、これまで経験した研修や症例等を発表しました。

参加した研修医からは「いろいろな症例が聴けてよかったです」、「自分が勉強していない範囲の症例を聞くことができ刺激となった」、「同期が頑張っているのを見て励みになった」などの感想をいただきました。

また、今回は医学生にも参加いただき、「研修医の先生方の発表を聴くことができて、将来先生方のようになれるよう頑張ろうと思った」と感想をいただきました。

来年1月に第18回合同研修会を行う予定です。



8名の研修医が症例発表などを行いました

イベントライブラリ ♪♪協議会のイベント情報 ♪♪

現在、協議会で予定しているイベントの開催・参加情報は次のとおりです。詳細は、事務局までお問い合わせください。多数のご参加をお待ちしています♪

○第18回鹿児島県臨床研修医合同研修会（日時：平成31年1月12日（土）13:30～16:45（予定））

○レジナビフェア2019n福岡（日程：平成31年3月3日（日）、場所：マリンメッセ福岡）

○県外医学生等出前セミナー（随時開催 希望がある場合は事務局まで気軽にご連絡ください）

鹿児島県初期臨床研修連絡協議会（事務局：鹿児島県庁 くらし保健福祉部 医療人材確保対策室内）

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 e-mail: iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp

TEL 099-286-2581 FAX 099-286-5552

<http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/doctorbanks/kyoungikai/index.html>